

岩出市情報化のあゆみ

昭和59年	9月	事務の電算化の検討に入る
昭和61年	6月	コンピュータの導入 FACOM-K-280 住民情報システム稼働
昭和62年	1月	職員給与計算システム稼働
昭和62年	4月	住民税システム稼働 固定資産税システム稼働 軽自動車税システム稼働 水道料金システム稼働 国民年金保険料システム稼働 口座振替システム稼働 国民健康保険税システム稼働 選挙システム稼働
昭和62年	12月	財務会計システム稼働（予算関係）
昭和63年	3月	滞納管理システム稼働
昭和63年	4月	財務会計システム稼働
平成元年	4月	水道会計システム稼働
平成元年	5月	決算統計システム稼働
平成元年	6月	那賀消防組合とのリモート接続（財務会計）
平成2年	4月	健康管理システム稼働
平成2年	6月	児童手当システム稼働
平成4年	4月	保育料システム稼働 予防接種・乳幼児検診システム稼働
平成4年	6月	財産管理支援システム（電算）
平成5年	1月	農家台帳システム稼働
平成5年	4月	学校システム稼働
平成7年	7月	償却資産システム稼働
平成7年	11月	新総合行政システム稼働 K-6900α導入
平成8年	3月	OCR読み取り業務稼働
平成8年	4月	新予算編成システム稼働
平成8年	5月	徴収管理システム稼働
平成9年	2月	臨時福祉給付金支援システム稼働（電算）

平成 9年	4月	新財務会計システム稼動 あいあいカード支援システム稼動（電算）
平成10年	2月	印鑑システム稼動
平成10年	4月	新決算統計システム稼動 新指名願い支援システム稼動（電算）
平成10年	8月	2000年問題対応 （財務会計、予算編成、決算統計、企業会計）
平成11年	1月	2000年問題対応（全システム） 地域振興券支援システム稼動（電算）
平成11年	12月	収納支援システム稼動
平成12年	1月	ホームページ開設
平成12年	4月	介護保険システム稼動
平成12年	8月	情報化推進委員会発足
平成13年	6月	IT講習会の実施
平成14年	3月	地域インターネット導入促進事業完了 総合行政システム本体入れ替え PRIMERGY 6910 / 2 導入
平成14年	8月	住民基本台帳ネットワークシステム稼動
平成15年	3月	身体障害者支援費システム稼動 老人保健システム稼動 老人医療システム稼動 乳幼児医療システム稼動 ひとり親家庭医療システム稼動 重度心身障害児者医療システム稼動 地域イントラネット基盤施設整備事業完了 各公共施設および各小中学校を光ファイバーで接続 役場を拠点に35ヶ所（内11ヶ所はISDNによる接続）
平成15年	8月	セキュリティポリシー策定
平成15年	10月	LGWANに接続完了
平成16年	4月	資産管理システム（CAT3）稼動
平成18年	3月	介護保険システムサーバ入れ替え
平成18年	4月	市ホームページリニューアル
平成18年	4月	図書館ネットワークシステム稼動
平成18年	4月	生活保護システム稼動

市民への情報化ニーズ調査

市民アンケート実施内容

今後の情報化における市民ニーズを把握するために、以下のような内容で市民にアンケートを実施しました

実施期間 平成17年10月27日(木)～11月15日(火)

調査対象 本市内に居住する 18歳以上の市民のうち、無作為に抽出した1,200人

実施方法 アンケート用紙を郵送し、記入後に対象者からの郵送で回収

回収数 548件(回収率45.6%)

市民アンケート回答者の状況

市民アンケート回収数548人の状況は以下のとおりとなっています。

◆あなたの性別、年齢、世帯構成などについてお尋ねします。

【問1】性別

1. 男性 2. 女性

	選択肢	人数	割合
1	男性	242	44.2%
2	女性	304	55.5%
3	無回答	2	0.3%
	合計	548	100.0%

【問2】年齢

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代以上

	選択肢	人数	割合
1	20歳代	70	12.8%
2	30歳代	73	13.3%
3	40歳代	80	14.6%
4	50歳代	84	15.3%
5	60歳代	126	23.0%
6	70歳代以上	114	20.8%
7	無回答	1	0.2%
	合計	548	100.0%

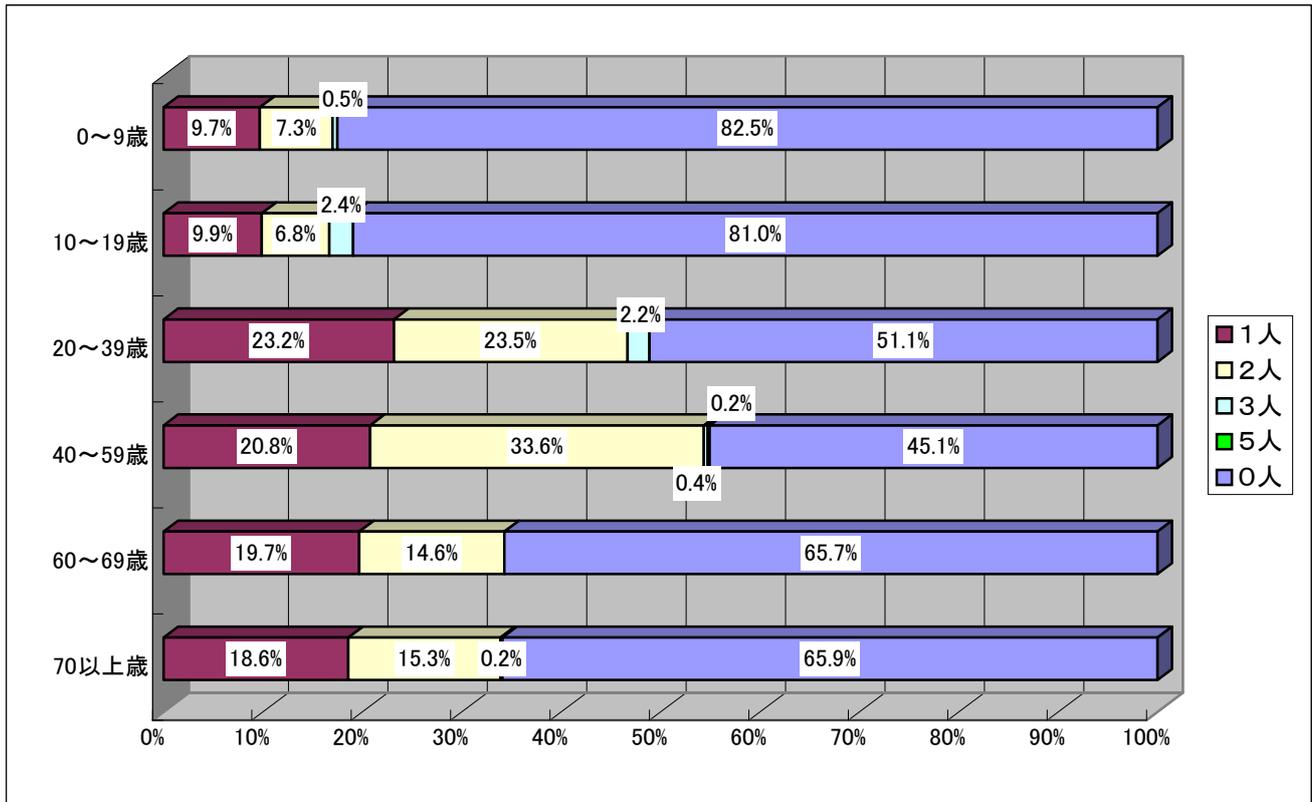
【問3】あなたの職業についてお尋ねします。

1. 農林水産業 2. 自営業 3. 会社員・公務員等
4. パート・アルバイト 5. 家事従事 6. 学生
7. 無職(退職者を含む) 8. その他()

	選択肢	人数	割合
1	農林水産業	9	1.6%
2	自営業	42	7.7%
3	会社員・公務員	137	25.0%
4	パート・アルバ	71	13.0%
5	家事従事	106	19.3%
6	学生	5	0.9%
7	無職(退職者を	144	26.3%
8	その他	24	4.4%
9	無回答	10	1.8%
	合計	548	100.0%

【問4】世帯構成についてお尋ねします。

以下にご自身も含めて人数をご記入ください。



【問5】どの地区にお住まいですか。

(岩出地区)

1. 岡田 2. 溝川 3. 大町 4. 高塚 5. 清水 6. 宮 7. 西野 8. 高瀬 9. 備前 10. 船戸 11. 山崎

(山崎地区)

12. 中黒 13. 中島 14. 吉田 15. 山 16. 境谷 17. 相谷 18. 原 19. 西安上 20. 金池 21. 湯窪
22. 赤垣内 23. 波分 24. 曾屋 25. 金屋 26. 畑毛 27. 紀泉台

(根来地区)

28. 根来 29. 森 30. 堀口 31. 今中 32. 川尻 33. 安上 34. 押川 35. 尼ヶ辻 36. 桜台

(上岩出地区)

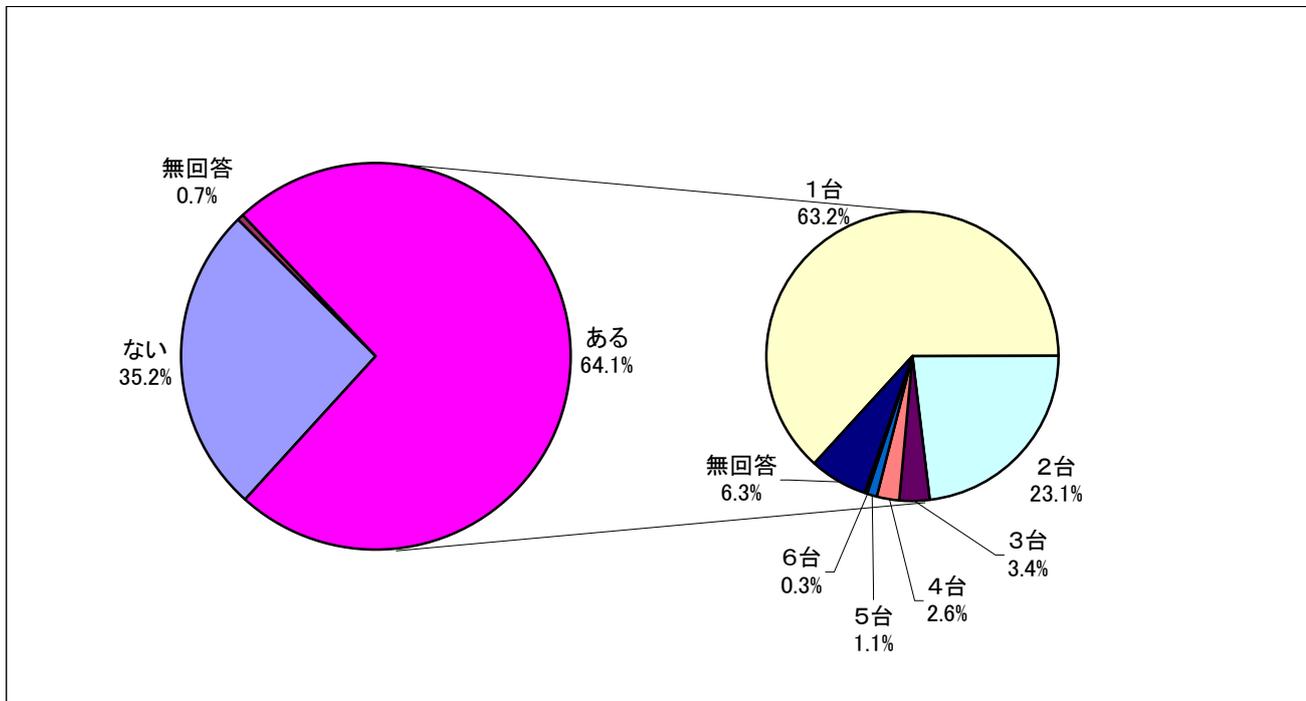
37. 荊本 38. 中迫 39. 水栖 40. 野上野 41. 山田 42. 北大池 43. 南大池 44. 東阪本
45. 新田広芝 46. 西国分

選択肢	件数
岩出地区	21.2%
山崎地区	38.4%
根来地区	13.5%
上岩出地区	26.9%
合計	100.0%

◆ご家庭のパソコンの保有状況等についてお尋ねします。

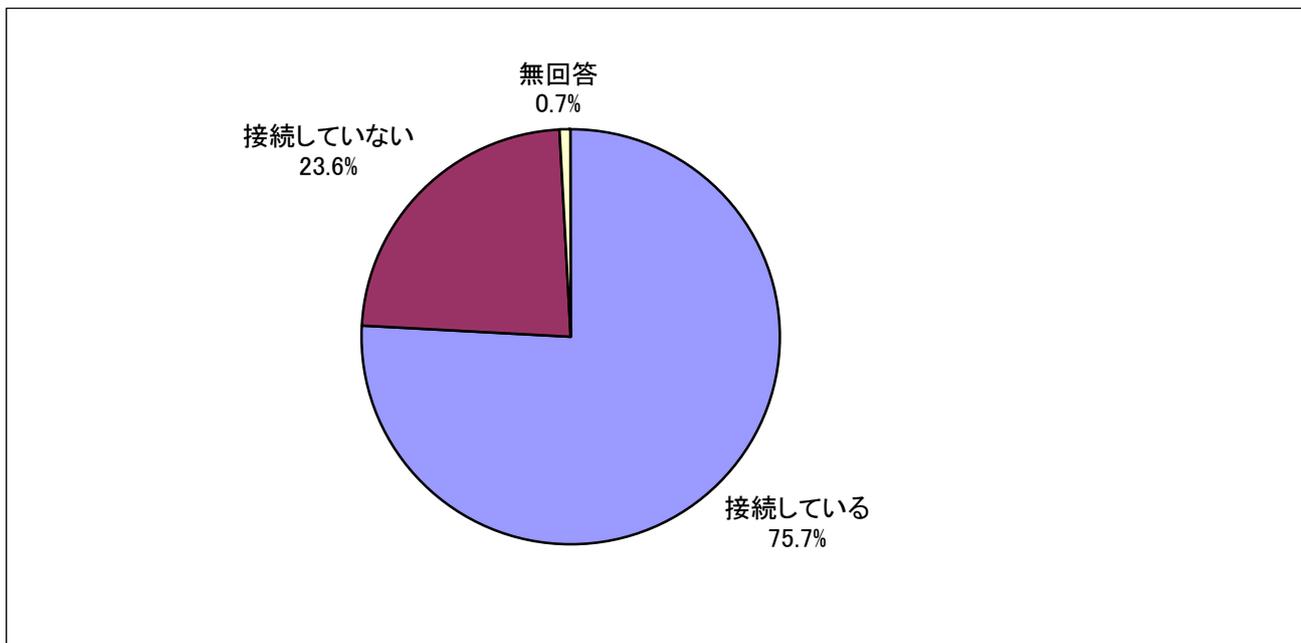
【問6】ご家庭にパソコンはありますか。

1. ある 2. ない



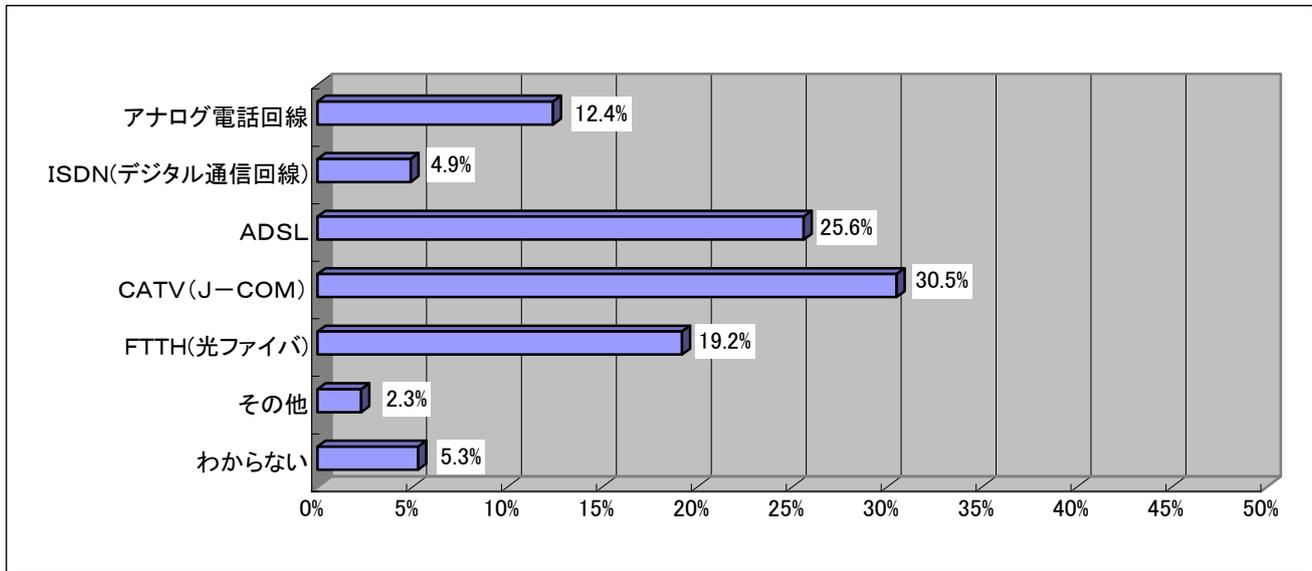
【問7】インターネットに接続していますか。

1. 接続している 2. 接続していない



【問 8】現在のインターネット回線はどの回線を利用していますか。

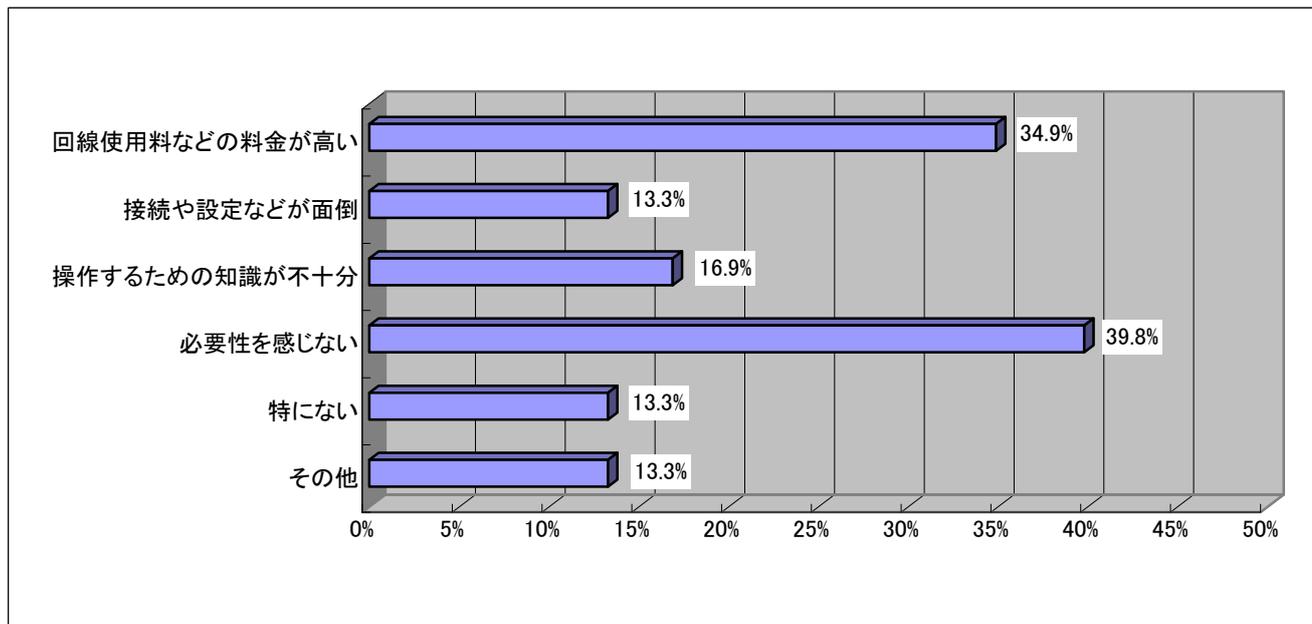
- 1. アナログ電話回線 2. ISDN(デジタル通信回線) 3. ADSL
 - 4. CATV(J-COM) 5. FTTH(光ファイバ)
 - 6. その他 7. わからない
- ※ISDN：NTT西日本のINSネット64やフレッツ・ISDN等のサービス
 ※ADSL：NTT西日本のフレッツADSLやYahoo BB等のサービス
 ※FTTH：ケイ・オプティコムのエコ光ネットやNTT西日本のBフレッツ等のサービス



【問 9】ご家庭のパソコンでインターネットに接続していない理由は何ですか。

該当する項目を3つ以内で選んでください。

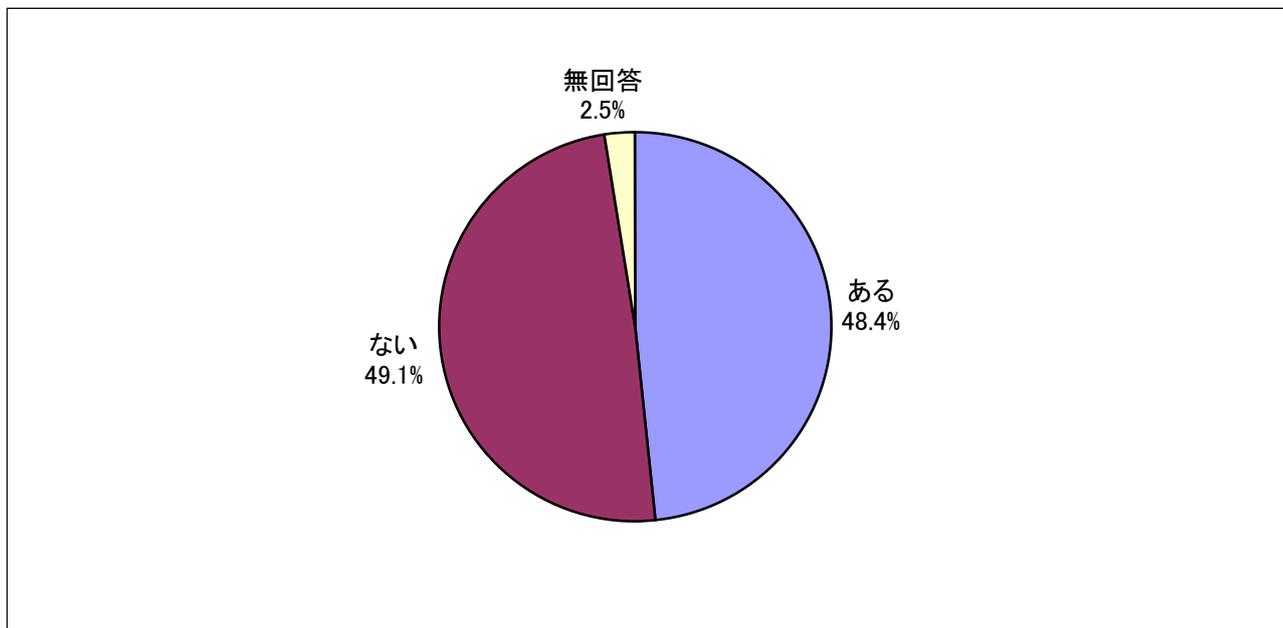
- 1. 回線使用料などの料金が低い 2. 接続や設定などが面倒
- 3. 操作するための知識が不十分 4. 必要性を感じない
- 5. 特にない 6. その他 ()



◆インターネットの利用について尋ねします。

【問12】あなたは、インターネットを利用したことがありますか。

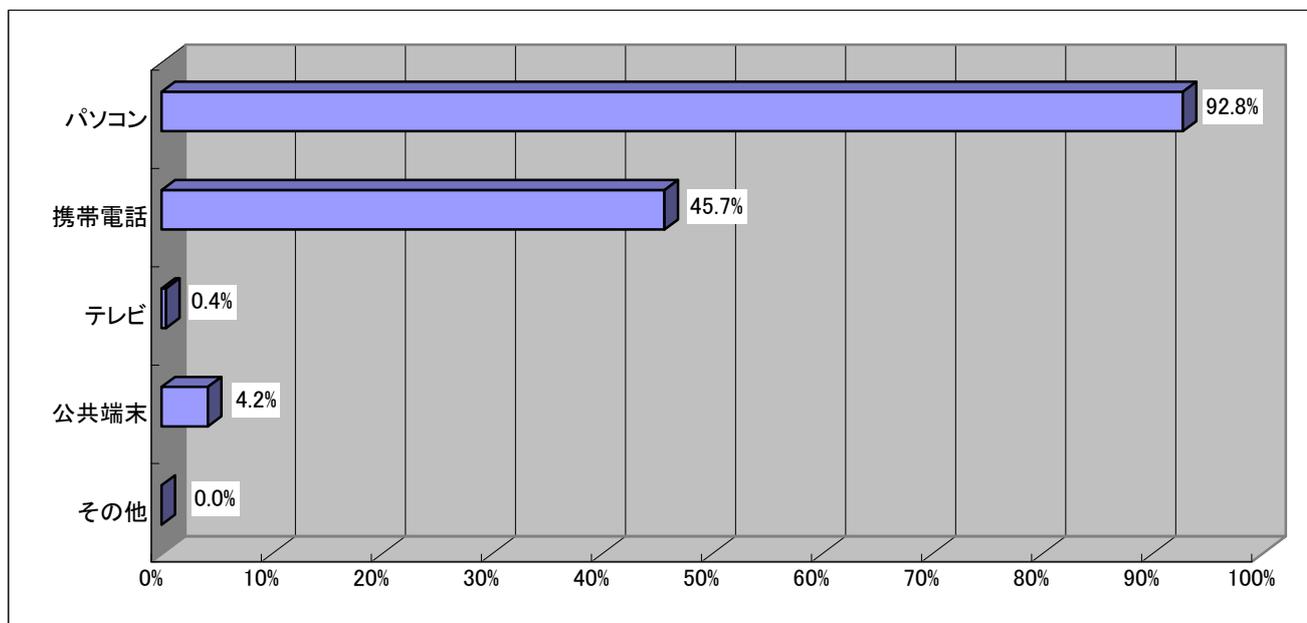
1. ある 2. ない



【問13】どのような機器で利用していますか。該当する項目をすべて選んでください。

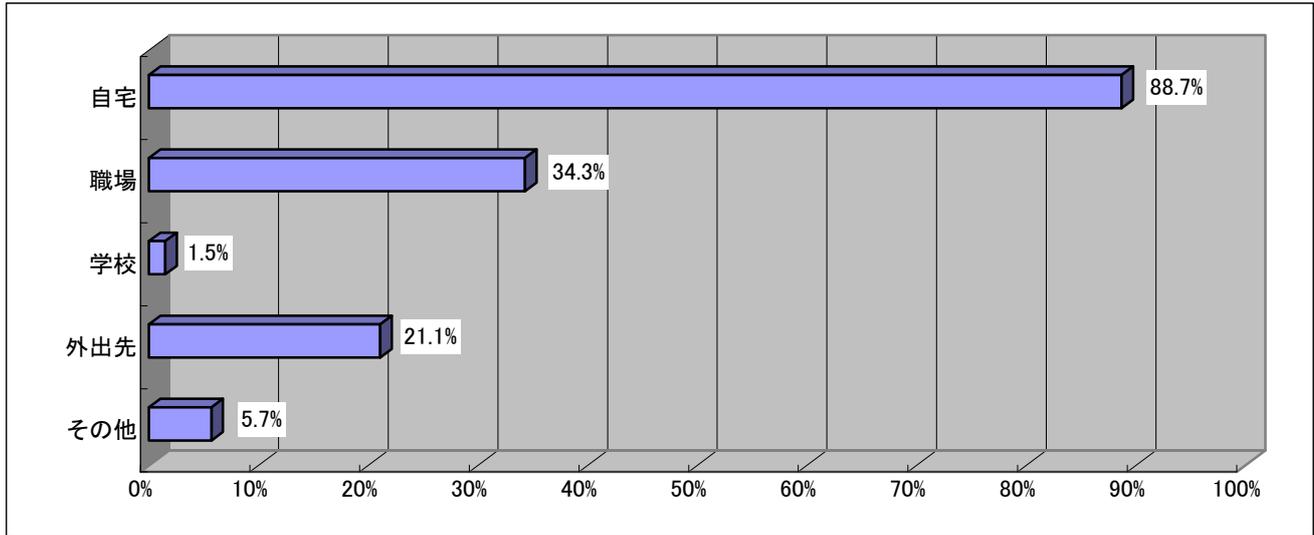
1. パソコン 2. 携帯電話 3. テレビ 4. 公共端末
5. その他

※公共端末：各公民館・駅前ライブラリー・総合保健福祉センター・民俗資料館・総合体育館に設置している住民の方がインターネットを利用できる端末



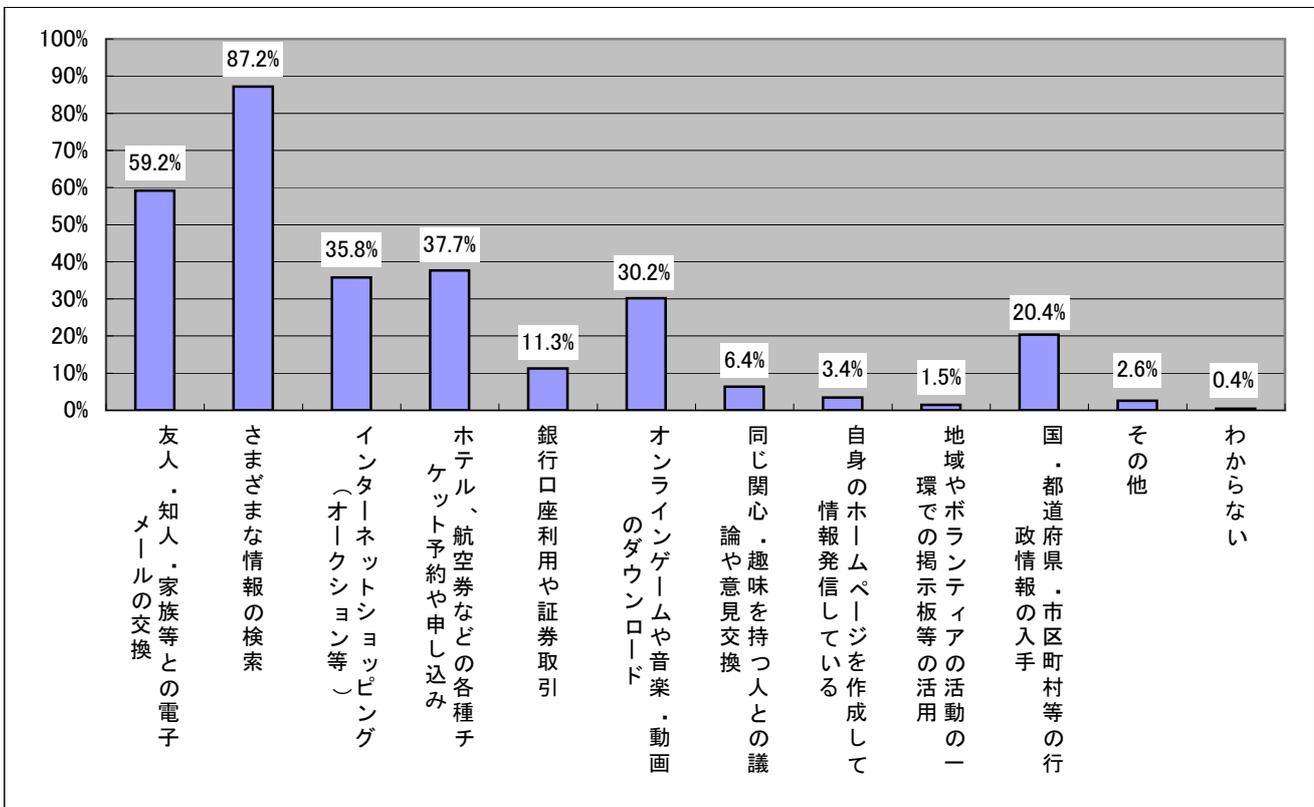
【問14】どこで利用していますか。該当する項目をすべて選んでください。

1. 自宅 2. 職場 3. 学校 4. 外出先 5. その他



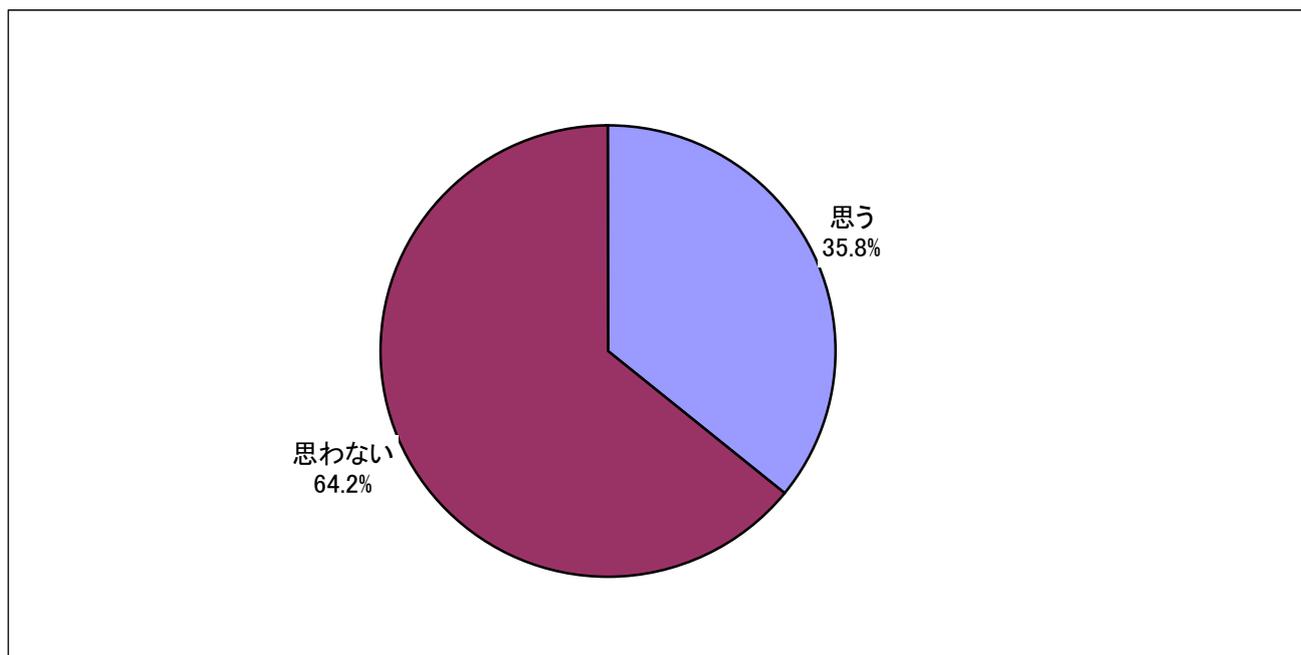
【問15】現在、インターネットを利用されている方は、どのような利用をしていますか。よく利用する項目をすべて選んでください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1. 友人・知人・家族等との電子メールの交換 | 7. 同じ関心・趣味を持つ人との議論や意見交換 |
| 2. さまざまな情報の検索 | 8. 自身のホームページを作成して情報発信している |
| 3. インターネットショッピング（オークション等） | 9. 地域やボランティアの活動の一環での掲示板等の活用 |
| 4. ホテル、航空券などの各種チケット予約や申し込み | 10. 国・都道府県・市区町村等の行政情報の入手 |
| 5. 銀行口座利用や証券取引 | 11. その他 |
| 6. オンラインゲームや音楽・動画のダウンロード | 12. わからない |



【問18】インターネットを今後利用してみたいと思いますか。

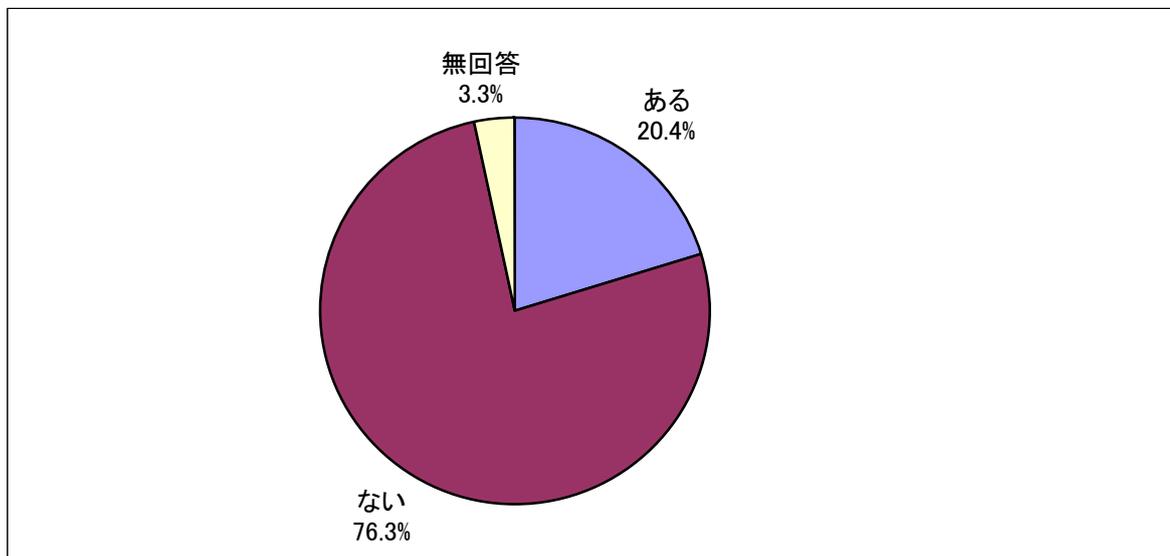
1. 思う 2. 思わない



◆岩出町の情報サービスや行政サービスに対する要望等についてお尋ねします。

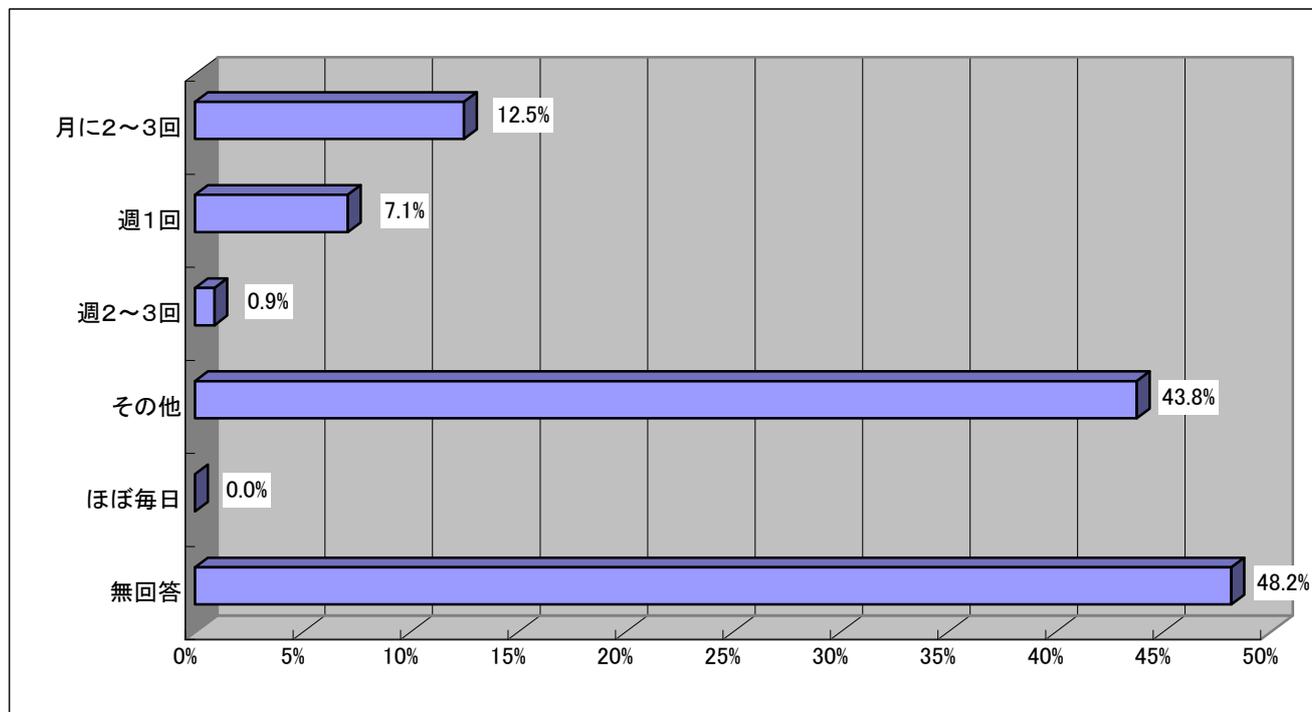
【問20】町のホームページを見たことがありますか。

1. ある 2. ない



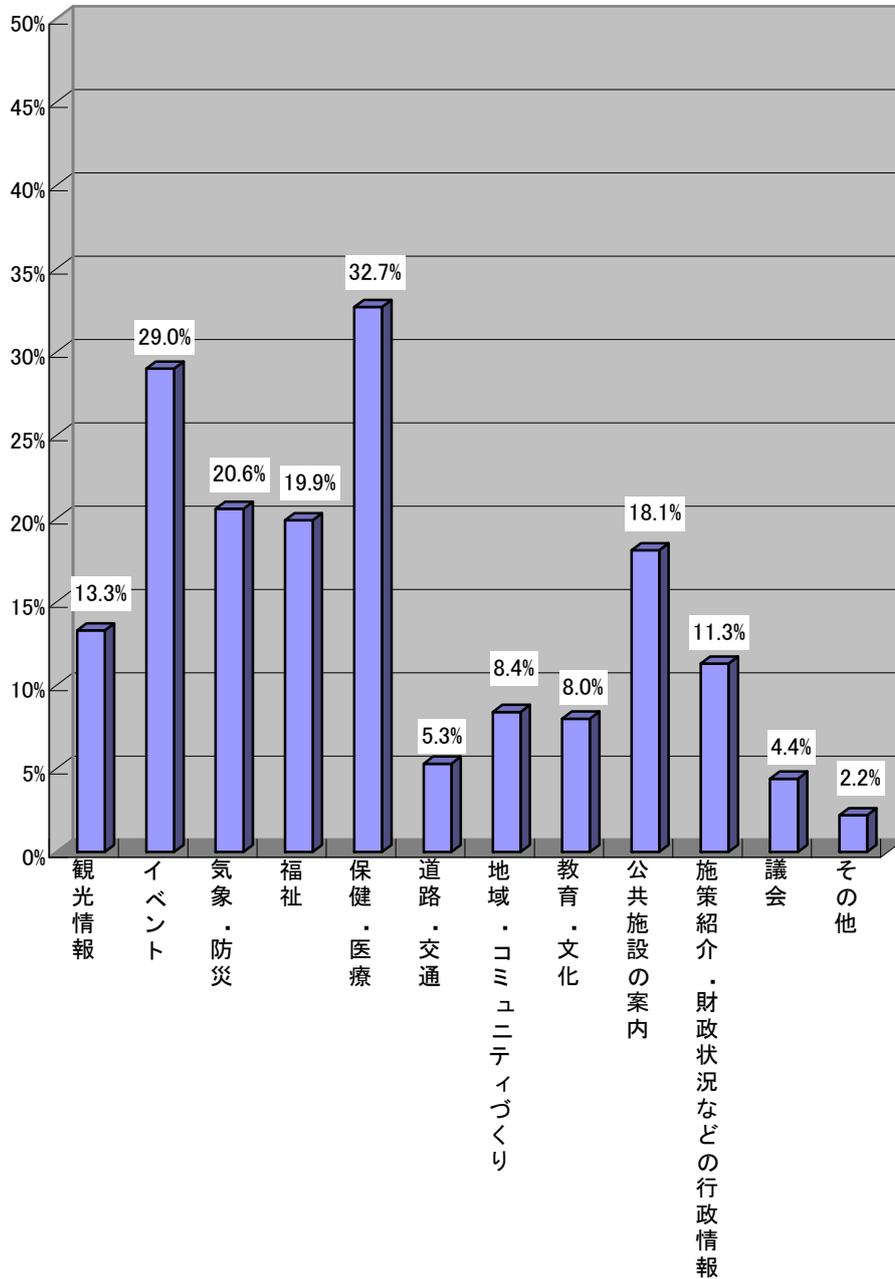
【問21】町のホームページはどの程度利用されていますか。

1. ほぼ毎日 2. 週2～3回 3. 週1回
4. 月に2～3回 5. 月1回 6. その他 ()



【問22】町のホームページにどのような情報を載せてほしいですか。またどのような情報があればみたいと思いますか。
 充実してほしい項目を2つ選んでください。

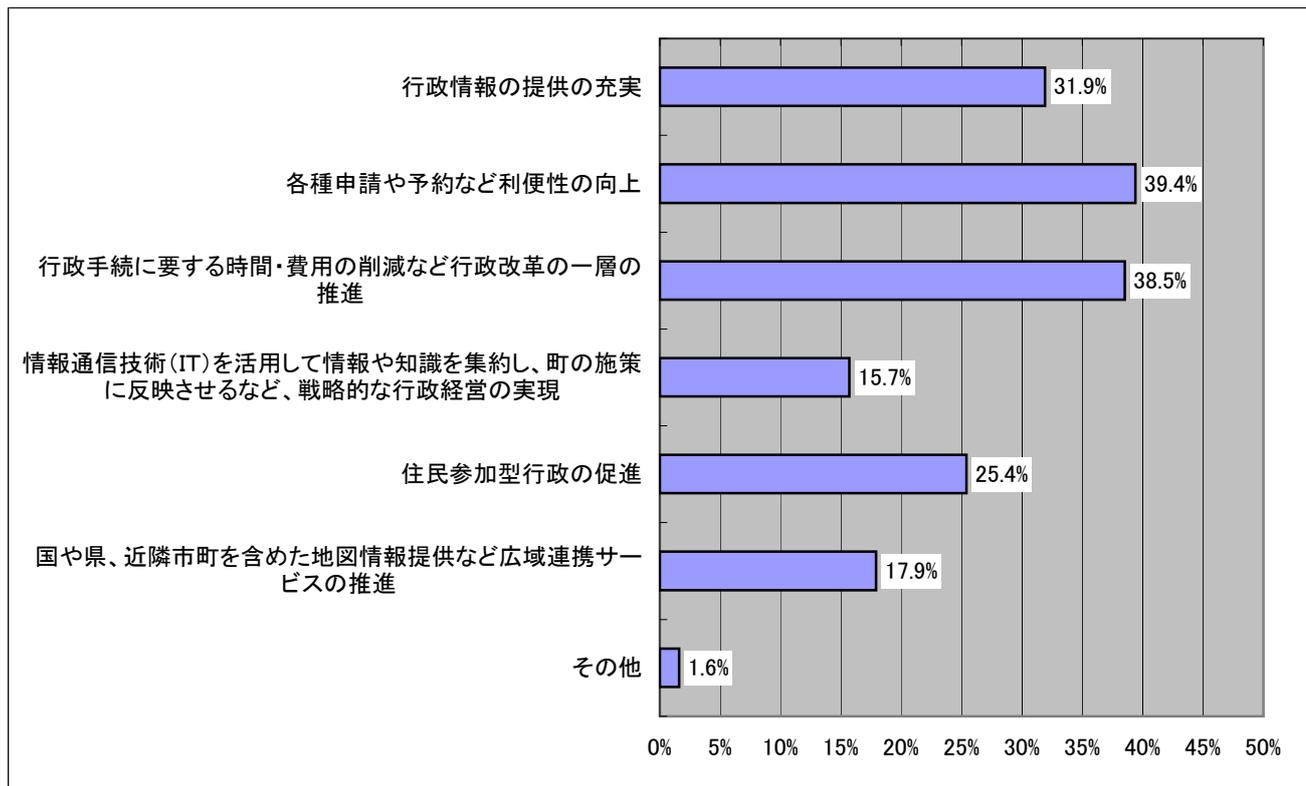
- | | | | |
|----------|------------|----------------------|-------|
| 1. 観光情報 | 2. イベント | 3. 気象・防災 | 4. 福祉 |
| 5. 保健・医療 | 6. 道路・交通 | 7. 地域・コミュニティづくり | |
| 8. 教育・文化 | 9. 公共施設の案内 | 10. 施策紹介・財政状況などの行政情報 | |
| 11. 議会 | 12. その他 | | |



◆町がこれから進める情報化施策とその利用の方法についてお尋ねします。

【問24】情報技術を活用する施策として、今後、町としてどのような分野に力を入れるべきだとお考えですか。もっとも重点的に推進すべきだと思われるものを2つ選んで下さい。

1. 行政情報の提供の充実
2. 各種申請や予約など利便性の向上
3. 行政手続に要する時間・費用の削減など行政改革の一層の推進
4. 情報通信技術（IT）を活用して情報や知識を集約し、町の施策に反映させるなど、戦略的な行政経営の実現
5. 住民参加型行政の促進
6. 国や県、近隣市町を含めた地図情報提供など広域連携サービスの推進
7. その他



【問25】どのような地域情報化サービスを利用したいですか。特に必要と思われるものをすべて選んでください。

(保健・医療・福祉関係)

1. 自宅と介護支援センターや訪問看護ステーション等との間で遠隔介護サービスを受けることができる
2. 病院の診療体制や医師照会などの情報が入手できる
3. 予防接種や各種健康診断に関する情報が入手できる
4. 保健・医療・福祉の各種情報を家庭で入手できる
5. 託児サービスの情報を入手し、利用申し込みができる

(教育関係)

6. 学校教育や生涯学習等の授業・講座を自宅で受けることができる
7. 育児や教育の問題などについて、保護者と学校などの間で意見交換等ができる
8. 子育て支援教室や育児サークルについての情報が入手できる
9. 各種の講習・研修会の情報が入手でき、参加申込ができる
10. 地域のスポーツや文化などの情報がインターネットで入手できる

(産業・観光関係)

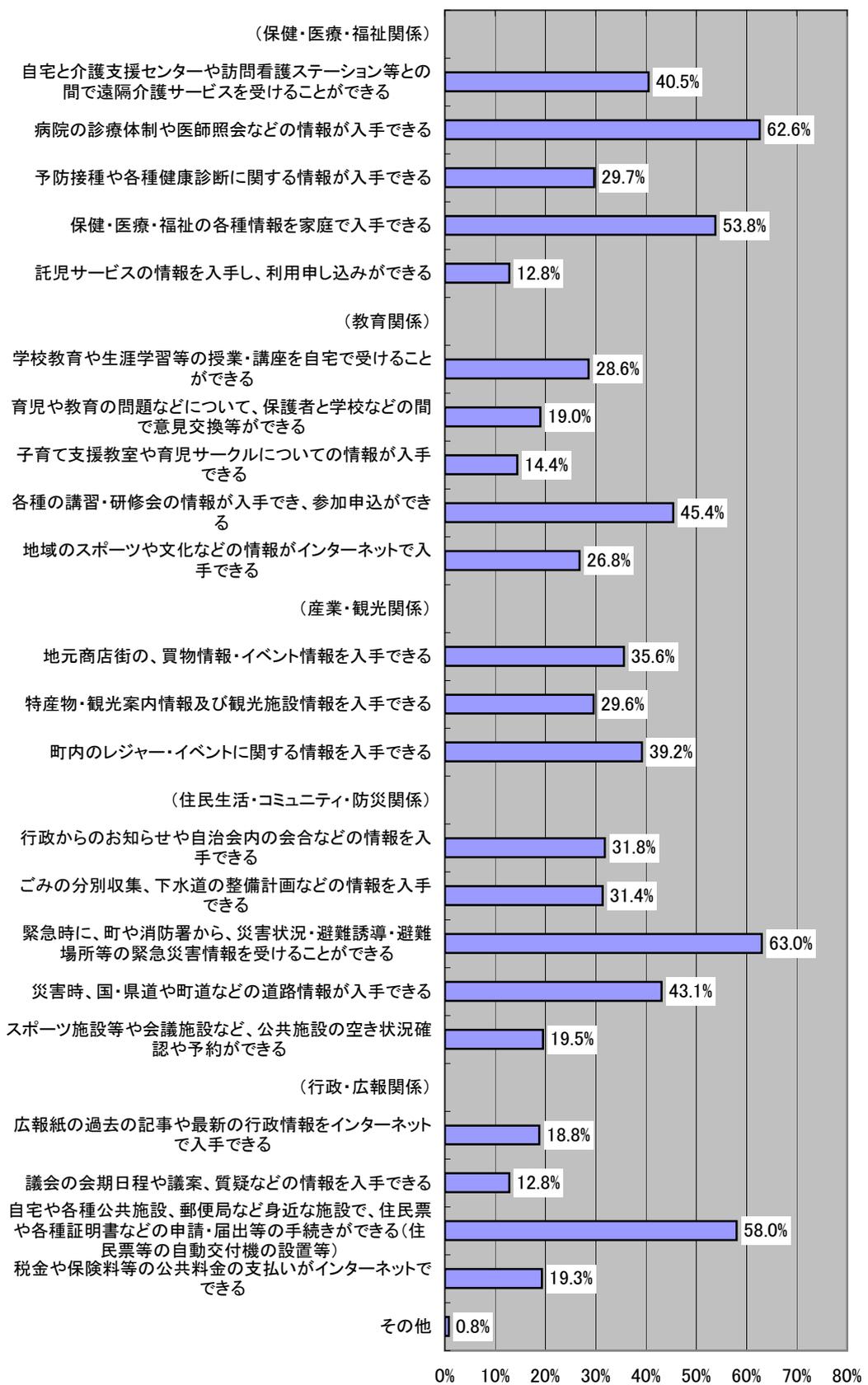
11. 地元商店街の、買物情報・イベント情報を入手できる
12. 特産物・観光案内情報及び観光施設情報を入手できる
13. 町内のレジャー・イベントに関する情報を入手できる

(住民生活・コミュニティ・防災関係)

14. 行政からのお知らせや自治会内の会合などの情報を入手できる
15. ごみの分別収集、下水道の整備計画などの情報を入手できる
16. 緊急時に、町や消防署から、災害状況・避難誘導・避難場所等の緊急災害情報を受けることができる
17. 災害時、国・県道や町道などの道路情報が入手できる
18. スポーツ施設等や会議施設など、公共施設の空き状況確認や予約ができる

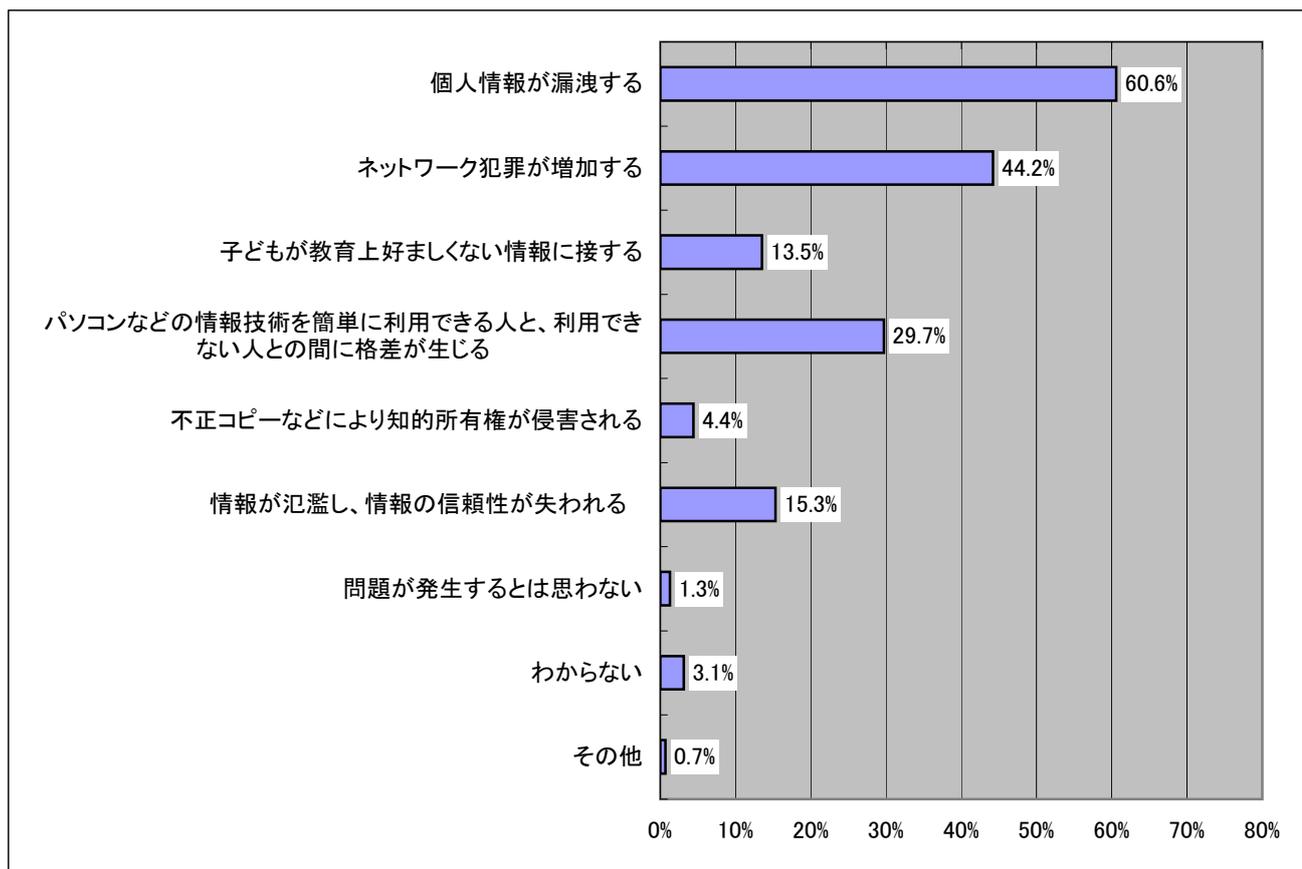
(行政・広報関係)

19. 広報紙の過去の記事や最新の行政情報をインターネットで入手できる
20. 議会の会期日程や議案、質疑などの情報を入手できる
21. 自宅や各種公共施設、郵便局など身近な施設で、住民票や各種証明書などの申請・届出等の手続きができる(住民票等の自動交付機の設置等)
22. 税金や保険料等の公共料金の支払いがインターネットでできる
23. その他



【問26】情報化が進んでいくことに対して、どのような不安がありますか。
該当する項目を2つ以内で選んでください。

1. 個人情報が漏洩する
2. ネットワーク犯罪が増加する
3. 子どもが教育上好ましくない情報に接する
4. パソコンなどの情報技術を簡単に利用できる人と、利用できない人との間に格差が生じる
5. 不正コピーなどにより知的所有権が侵害される
6. 情報が氾濫し、情報の信頼性が失われる
7. 問題が発生するとは思わない
8. わからない
9. その他



用語集

用語	用語説明
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line の略。電話線（銅線）を使って、高速デジタル伝送を可能にする技術。
CATV	Community Antenna TeleVision の略。テレビの有線放送サービス。山間部や人口密度の低い地域など、地上波テレビ放送の電波が届きにくい地域でもテレビの視聴を可能にするという目的で開発された。近年では多チャンネルや電話サービス、高速なインターネット接続サービスなども行われている。
FTTH	Fiber To The Home の略。光ファイバーによる家庭向けのデータ通信サービス。元は、一般家庭に光ファイバーを引き、電話、インターネット、テレビなどのサービスを統合して提供する構想の名称だったが、転じて、そのための通信サービスの総称として用いられるようになった。
IT	Information Technology の略。情報技術。コンピュータ関連の基礎技術から応用分野までの広い範囲を意味する用語。
ICT	Information and Communication Technology の略。情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称。日本では同様の言葉として IT(Information Technology: 情報技術)の方が普及しているが、国際的には ICTの方が通りがよい。
LGWAN	Local Government Wide Area Network の略。総合行政ネットワークという。地方自治体のコンピュータネットワークを相互接続した広域ネットワーク。
アクセシビリティ	情報やサービス、ソフトウェアなどが、どの程度広汎な人に利用可能であるかをあらわす語。
インターネット	世界各国のコンピュータ・ネットワークを接続し、ひとつのネットワークシステムとして利用するもの。相手先のアドレスさえわかれば、世界中のどこでも通信することが可能。インターネットの利用形態として、電子メール、ネットニュース、ファイル転送、WWWなどがある。
オープンシステム	様々なメーカーのソフトウェアやハードウェアを組み合わせで構築されたコンピュータシステム。
オフィスコンピュータ	事務処理に特化したコンピュータ。パソコンの高性能化と低価格化が進み、パソコン用のパッケージソフトにも優秀なものがそろってきたことから、年々需要は減少している。

用語集

用語	用語説明
公共端末	公衆端末（K I O S K 端末）。公共施設に設置した住民の方がインターネットを利用できるパソコン。
コンピュータウイルス対策	コンピュータウイルス（コンピュータシステムに害を与えるプログラム。）の駆除や進入の防止を目的とする対策。
情報リテラシー	情報を使いこなす能力。体験やメディアを通じて得られる大量の情報の中から必要なものを探し出し、課題に即して組み合わせたり加工したりして、意思決定したり結果を表現したりするための基礎的な知識や技能の集合である。
セキュリティパッチ	ソフトウェアに保安上の弱点（セキュリティホール）が発覚した時に配布される修正プログラム。
セキュリティポリシー	組織全体の情報セキュリティに関する基本方針。広義には、セキュリティ対策基準や具体的な実施手順などを含む。
データベース	関連し合うたくさんのデータを収集・整理し、蓄積して簡単に利用するための仕組み。
デジタルディバイド	パソコンやインターネットなどの情報技術を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる機会や収入等の格差。個人間の格差の他に、IT 環境の地域間格差として用いられることもある。
電子政府	コンピュータシステムやインターネットを利用し、処理を電子化した行政機構。市町村では電子自治体と呼ばれている。
電子メール	インターネットなどのネットワークを通じて文字や画像データ、プログラムなどを送受信するシステム。
光ファイバー	ガラスやプラスチックの細い繊維でできており、光を通す通信ケーブル。超長距離でのデータ通信が可能で、通信速度は従来のメタルケーブルと比べて格段に速い。
ブロードバンド	F T T H、D S L をはじめとした高速・超高速通信を可能とする回線のこと。
ホームページ	インターネット上で WWW(World Wide Web) と呼ばれるシステムを使って情報提供や情報発信する場のこと。

用語集

用語	用語説明
ユニバーサルデザイン	障害の有無、年齢、性別、人種などにかかわらずさまざまな人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインするという考え方。
ユビキタス	「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」利用可能なコンピュータネットワーク環境。ユビキタスとは「いたるところに遍在する」という意味のラテン語に由来した言葉。
レガシーシステム	時代遅れとなった古いシステムのこと。主にコンピュータシステムを指して用いられる。